

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	Prosper 垂水	階数	地上6F
建設地	大阪府吹田市垂水町二丁目	構造	RC造
用途地域	準防火地域	平均居住人員	71 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年3月 予定	評価の実施日	2020年2月20日
敷地面積	1,353 m ²	作成者	森繁建設(株) 市場 裕敏
建築面積	602 m ²	確認日	2020年2月20日
延床面積	2,461 m ²	確認者	森繁建設(株) 市場 裕敏



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

0 46 (kg-CO₂/年・m²) 92

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	全住戸南面にバルコニーを配置し、光と風を取り込めるよう計画。遮音床を採用し快適な室内環境を確保。敷地内にプレイロットを設け、建物利用者や地域住民の憩いの場とし、地域の活動やにぎわいに貢献している。また、かまどベンチを設置し、有事に備えた防災対策にも配慮している。	その他 特になし
Q1 室内環境	界床の遮音性能を確保し、十分な大きさの開口部を設け快適な室内環境に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地の外周部に中木を植樹し、防犯性を配慮しつつ、敷地内を可能な限り緑化し屋外の環境に配慮している。
LR1 エネルギー	共用部照明をLEDなどの省エネ機器を採用し、建物の省エネルギー化に配慮している。	LR3 敷地外環境 省エネ対策、劣化対策等によるライフサイクルCO ₂ の削減を図っている。
Q2 サービス性能	耐用年数の長い配管材料を採用するなど、維持管理への配慮をしている。	
LR2 資源・マテリアル	断熱材など、環境負荷の少ない製品を採用し資源保護に配慮している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0160

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	Prosper 垂水					
		建設地	大阪府吹田市垂水町二丁目					
		用途/区分	集合住宅					
【評価結果】		CASBEE 総合評価	★★★★★			B-		
①	CO2削減		★★★★★			3		
②	みどり・ヒート アイランド対策		★★★★★			2		
③	建物の断熱性		★★★★★			3		
④	エネルギー削減		★★★★★			3		
⑤	自然エネルギー直接利用					○		
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						対象外		
【評価項目】								
項目		評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.0	3	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	2	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価				3.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価				2.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				3.0	3	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				3.2	3	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	○	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	-	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
先進的技術の導入								
特に配慮した事項								